

東京文化発信プロジェクト室

平成24年

東京アートポイント計画 POD通信

12月号

発行：東京アートポイント計画 〒130-0026 東京都墨田区両国 3-19-5 シュタム両国5階 東京文化発信プロジェクト室

早いもので今年も残り1か月を切り、寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

東京アートポイント計画「秋の陣」ともいえる数か月から息つく間もなく、12月1日～2日を中心に7つのプロジェクトが展開されました。東は足立、墨田区から、豊島、渋谷、練馬区、小金井市までを舞台として、アートで結ばれた人・まち・活動の“接点”がさらに広がった週末でした。さて、次号は年明けとなります！ 素敵な新年をお迎えてください。

Pick Up

墨東まち見世2012 ウェブサイト <http://machimise.net/>

10月19日から週末を中心に開催された「墨東まち見世2012」メイン会期が11月25日、盛況のうちに終了。主に曳舟・京島・東向島・八広・押上エリアで、4つの特別企画と数多くの参加企画がまちを彩りました。特別企画は、「墨東文庫」(写真)の他、古い家屋を改装したスペースでお隣との関係を考える「私たちがおすそわけできること」、点在する作品を巡りながらまちも体感する「どこにいるかわからない」展、まちで集めた素材でつくった旗を秋空にはためかせる「ロジ展 はためくわたしたち」などさまざま。同時開催の100日プロジェクト「曳舟湯怪」の作品は、約80年の歴史を閉じた「曳舟湯」の記憶を引き継ぐもの。現在もエリア内の一部の銭湯でご覧いただけます。

10月24日「墨東文庫 街頭紙芝居編 ～まちで見つけた物語、まちで語る物語～」の口演。地元の子供たちもオリジナルの紙芝居を楽しみました。

井尻 貴子

今年6月に始動した、アーティスト・イン・児童館の快活プロジェクト。練馬区内の児童館でのリサーチ、ワークショップ、イベント、稽古を経て、12月1日・2日、ついに『Y時のはなし』公演を迎えました！ 出演する子供たちやその保護者の方々、サポートスタッフ、観客、あわせて各日300名近い人が集まり、会場は大盛況。ご覧くださったみなさまの感想は、twitter「#Y時」でお読みいただけます。公演は終了しましたが、これを確かな手応えとして進んでいく、アー兎の活動に今後ご注目ください！

大内 伸輔

音まち千住の縁のメイン会期、「音でめぐる6つの週末」が12月1日～2日のスプツニ子！ によるADACHI HIPHOP PROJECT で「ワガマチアダチー」とラップしながら華やかに幕を閉じました。とっても大団円、いやいやこれからはじまり。何度経験しても、この“一区切り”時のスタッフ、アーティスト、ボランティアの達成感と安堵感で満たされた表情が並ぶのはよいシーンです。こうやって新しいことがはじまって、挑んで、価値観や経験がそれぞれの関わり方で更新されて行く、そんな現場をつくっていきます。次は3月、だじゃれ音楽祭。

熊谷 薫

約一ヶ月間開催された TRANS ARTS TOKYO での日比野克彦『船は種アーカイブ準備室』展も11月25日に無事終了しました。アートプロジェクトを記録、アーカイブ化、評価するための複合的なプロジェクトの中間報告となりましたが、資料を関係者一同で見ながら会話するだけでも、様々な記憶がよみがえりました。関わる人々が意識を少し変化させるだけで、プロジェクトを残し、社会へ開いていくためのありがたが大きく変わるようです。新しい動き続けるアーカイブ構築へ向けて貴重な一歩になりました。これからの展開にもご期待ください。

坂本 有理

12月最初の週末、代々木公園原宿門前広場では、浅井裕介による「植物になった白線—手入れの日」が開催されました。昨年の作品制作から約一年を経たこの冬、公園に生息する他の植物と同じように、白線も手入れされ、少し成長して、その表情を変化させました。この先3年、5年…と残っていくであろう作品を創造する一員として、延べ約40人が葉や茎、花や動物、汽車や飛行機、UFO など思い思いのパーツを切り出し、広場に焼き付けていきました。紅葉観賞とともに原宿門前広場のゆるやかな変化もぜひお楽しみください。

佐藤 李青

アートプロジェクトとは何か。近頃 TARL のあらゆる現場で考えさせられています。アートプロジェクトをどう記録し、アーカイブするのか。何を調査し、評価するのか。どんな組織がありうるのか。議論が実践に踏みこんでいけばいくほど、改めてこの問いに向き合われています。これに真正面から取り組んでいるのが「日本型アートプロジェクトの歴史と現在Ⅱ：定義の試み&3. 11以降の動き」。12月12日から3週連続開講の第2期では、3月11日以降の動きに焦点をあてます。定員も増えて、参加しやすくなりました。ご参加お待ちしております！

長尾 聡子

今担当している「音まち千住の縁」と「墨東まち見世」が、10月下旬から1週間差でメイン会期を迎えてそれぞれ6週末。この秋は、意外と近いこの2つのプロジェクト現場を渡り歩き、北千住駅と曳舟駅をたびたび往復しました。下町の活気の名残りや路地の魅力など、舞台とする地域に共通点が多い一方、それぞれのプロジェクトに浸ってみると、その内容や展開の仕方、まちの空気もふくめ異なる表情が見えてきます。ひとまずの無事の閉幕に感謝するとともに、これからはばし、じっくりとしたドキュメント制作向きの“冬ごもり”の季節に期待です。

森 司

芸術秋祭りが終わり、寒さ厳しそうな冬が到来。屋外でのプロジェクトの展開から、室内での記録編集作業に移ります。体験を言葉にし残し伝える、大切な活動の後半戦が始まります。あわせて活動の継続に検証行為はとても大切。振り返りや総括のフォーラム類がその役を担います。東京都の文化による復興支援活動の現場では、改めて復興期における芸術文化の可能性を確認する場の準備が進められています。まずは1月26日に宮城県で「なんのためのアート」(場所:せんだいメディアテーク)を開催します。URL <http://n-t-a.jp> (12月中旬オープン)。ご参加ください。お待ちしております。

## 月間予定 12/10-1/10

- 12.12(wed)【としまアートステーション構想】キッチンプロジェクト実験 vol.5  
森を食べる～対馬しいたけから考える森と海の関係～ (としまアートステーション「Z」)
- 12.12(wed)【Tokyo Art Research Lab】日本型アートプロジェクトの歴史と現在Ⅱ：定義の試み&3.11 以降の動き  
ゲスト:佐藤李青 (東京文化発信プロジェクト ROOM302)
- 12.13(thu)【東京事典 TOKYO JITEN】プレゼンテーションの公開録画 (代官山 AIT ルーム)
- 12.14(fri)【Tokyo Art Research Lab】渋谷アートファクトリー計画 DIWO Lab. vol.6  
プレゼンター:THEATRE PRODUCTS、モデレーター:水野大二郎 (FabCafe)
- 12.14(fri)-24(mon)【TERATOTERA】バスのなかのひみつ ～子どもだけに訪れる不思議な出会い～ (武蔵野プレイス)
- 12.15(sat)【小金井アートフル・アクション!】市民がつくる現代アート入門講座 第3回「アーティストは地域社会に貢献できるのか? ～みんなでアートを駄弁る会～」 講師:芹沢高志 (小金井アートスポット シャトー2F)
- 12.15(sat), 21(fri), 22(sat)【としまアートステーション構想】岸井大輔「diVISION」step 25 記憶を記録するために(鑑賞者) (豊島区)
- 12.15(sat)【三宅島大学】講座「ネイチャーウォーク」「アーティスト紹介講座・マネージャー報告会」(三宅島大学本校舎[御蔵島会館]ほか)
- 12.17(mon)【東京事典 TOKYO JITEN】プレゼンテーションワークショップ (代官山 AIT ルーム)
- 12.19(wed)【TERATOTERA】バスのなかのひみつ ライブパフォーマンス「バスのなかの大人も!ひみつ」(武蔵野プレイス)
- 12.19(wed)【Tokyo Art Research Lab】日本型アートプロジェクトの歴史と現在Ⅱ：定義の試み&3.11 以降の動き  
ゲスト:大友良英 (東京文化発信プロジェクト ROOM302)
- 12.22(sat)-23(sun)【墨東まち見世 2012】100 日プロジェクト 新里碧「曳舟湯怪」ワークショップ みんなで「湯怪」をつくろう! (float)
- 12.24(mon)【TERATOTERA】バスのなかのひみつ ギャラリートーク (武蔵野プレイス)
- 12.26(wed)【Tokyo Art Research Lab】日本型アートプロジェクトの歴史と現在Ⅱ：定義の試み&3.11 以降の動き  
ゲスト:きむらとしろうじんじん (東京文化発信プロジェクト ROOM302)